



2015 ~ 2016 年度
R I テーマ

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン (国籍・スリランカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野 教康	理事	西馬 良和	役員	会長	平野 教康	SAA	前田 哲矢
〃	梶原 和朗	〃	村津 忠久	副会長	梶原 和朗	直前会長	前田 哲矢	
〃	後藤 隆	〃	亀井 孝	幹事	佐々木久宜			
〃	森園 伸也			会計	衛藤 秀子			

VOL. 28 - 29
2016年2月23日

第1268回例会

会報委員長 堀 由美

◆点 鐘 12:30

◆国 歌 君が代

◆R S 奉仕の理想

◆唱 歌 冬景色

◆ゲ ス ト
氏田 善宣氏
(WOOD HOUSE(株) 代表取締役)
花苑 泰樹氏
(陽はまたのぼる 大分エアーマネージャー)
指宿 洋氏
(陽はまたのぼる 竹田はなれ店 店長)
肥高 加奈氏
(陽はまたのぼる 府内店)
氏田 里美氏
(WOOD HOUSE(株))
田中 俊一氏
(RI第2720地区大分第3グループガバナー補佐)

◆出席報告 委員長 衛藤 秀子

本日	会 員 総 数	28 名
	出 席 者	15 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
出 席	出 席 免 除	3 名
	欠 席 数	9 名
	出 席 率	60.00 %
前々回の訂正	出 席 率	68 %
	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	3 名
2/9	修 正 出 席 率	76 %
	連 続 一 回	
	通 算 750 回	100 %

・メイクアップ

事前 近藤 (大分キャピタル)
事後 前田 (大分南)
平野(教)(大分キャピタル)
欠席 梶原、亀井、森、森園、中尾、
西馬、西林、大島、津末
出席免除 溝部、河村、衛藤

会長の時間

会長 平野 教康

本日、2月23日はロータリーの創立を確定した会議の記念日です。

ロータリーの創立は1905年2月23日です。当時青年弁護士であったポールハリスが鉾山技師のガスタヴァス、石炭商のシルヴェスター、洋服商のハイラムに声かけし始まりました。会設立の目的を「会員間の職業上の相互扶助」即ちお互いの職

業を理解し合い、その企業上の諸問題について相互衆知を集め助け合うのである。

クラブが増え会員が増えた今こそシンプルな原点を意識しなければと考えています。

本日の講師は株式会社ウッドハウス 代表取締役



役 氏田 善宣様です。私自身、氏田社長とは4年近いお付き合いで会社の成長をみさせていただきました。店舗である陽はまたのぼると言うお店を4店舗経営しています。

過疎化が大分県で一番進行している竹田市で開業資金0円から起業し居酒屋甲子園（北は北海道から南は沖縄1500社）で一昨年輝く日本一となり、昨年のも準優勝となりました。会社設立4年目の快挙でした。

今では首藤竹田市長と共に竹田市活性化の市民として御活躍されています。郷土を愛し恩返しを合言葉に竹田の若い経営者と仲間たちの話です。

別府市には竹田市以上に素晴らしい歴史文化温泉があり若者たちがいます。これからの別府を考えるうえでの参考にしたいものです。

4. 2月17日（水）10：25～別府中央小学校に於いて、「第4回別府中央RC子どもの善行表彰」を行いました。

出席者：平野教康会長、西林勲二、佐々木久宜 各会員



5. 2月18日（木）16:00～浜脇中学校に於いて「第4回別府中央RC子どもの善行表彰」を行いました。

出席者：鳴海淳郎、前田哲矢、西林勲二 各会員

幹事報告

佐々木久宜

—平和と紛争予防／紛争解決月間—

ロータリー創立記念日 世界理解と平和の日



1. 本日は別府中央ロータリークラブのホストにより別府亀の井ホテルに於いて「別府市内4RC合同例会」を開催いたします。

2. 本日の卓話
「大分県竹田市に陽はまたのぼる」
WOOD HOUSE(株) 代表取締役 氏田 善宣 氏

3. 本日のゲスト
氏田 善宣 氏 (WOOD HOUSE(株)代表取締役)
花苑 泰樹 氏 (陽はまたのぼる 大分エアマネージャー)
指宿 洋 氏 (陽はまたのぼる 竹田はなれ店 店長)
肥高 加奈 氏 (陽はまたのぼる 府内店)
氏田 里美 氏 (WOOD HOUSE(株))
田中 俊一 氏 (RI第2720地区大分第3グループガバナー補佐)

6. 委員会報告

「わたしの「ロータリー哲学」信奉の推移」
ロータリー探究No.501
鳴海淳郎R情報副委員長より

7. 例会変更のお知らせ

大分城西RC 3月2日（水）の例会は、椎茸駒打ち体験プロジェクトの為 3月6日（日）に開催日変更
大分RC 3月8日（火）の例会は、夜間例会の為 同日18：30～大分オアシスタワーホテルに時間・場所変更

8. 次回例会の予定

「会員卓話」近藤賢司会員

9. 本日の回覧

①「もみじ谷植樹作業」出・欠席

10. 本日の配布

① 別府市内4RC合同例会プログラム
② ロータリー探究No.501
「わたしの「ロータリー哲学」信奉の推移」
鳴海淳郎R情報副委員長より



合同例会

別府市内4ロータリークラブ合同例会次第

日時 平成28年2月23日(火) 12:30~13:30

場所 別府亀の井ホテル

ホスト 別府中央ロータリークラブ (司会・進行)

12:30~

(1)開会宣言 別府中央RC プログラム委員長 梅津 圭二

(2)点 鐘 別府市内4ロータリークラブ代表会長 梅野 保

(3)「君が代」斉唱 並びにロータリーソング

別府中央RC ソングリーダー 村津 忠久

“奉仕の理想” 今日の歌 “冬景色”

(4)ゲスト・ビジター紹介 別府中央RC 会長 平野 教康

(WOOD HOUSE(株) 代表取締役) 氏田 善宣 氏

(陽はまたのぼる 大分エアマネージャー) 花苑 泰樹 氏

(陽はまたのぼる 竹田はなれ店 店長) 指宿 洋 氏

(陽はまたのぼる 府内店) 肥高 加奈 氏

(WOOD HOUSE(株) 氏田 里美 氏

(RI第2720地区大分第3グループガバナー補佐) 田中 俊一 氏

(5)4クラブ新会員紹介(その場で起立) 資料参照

別府市内各クラブ会長

(6)食 事

(7)会長の時間 別府中央RC 会長 平野 教康

(8)幹事報告 別府中央RC 幹事 佐々木久宜

(9)出席報告 各クラブ出席委員長

(10)ロータリー情報

別府中央ロータリークラブ R情報副委員長 鳴海 淳郎

ロータリー探究: No.501

「わたしの「ロータリー哲学」信奉の推移」

13:00~

(11)卓 話

『大分県竹田市に陽はまたのぼる』

WOOD HOUSE(株) 代表取締役 氏田 善宣氏

(12)謝 辞 別府中央RC 会長 平野 教康

13:30~

(13)閉会宣言 別府中央RC プログラム委員長 梅津 圭二

(14)点 鐘 別府市内4ロータリークラブ代表会長 梅野 保

卓 話

「大分県に竹田市に陽はまたのぼる」

WOOD HOUSE株式会社

代表取締役 氏田 善宣

竹田市内に2店舗 大分市内に2店舗

合計4店舗の飲食店を営んでいる。

氏田善宣の生い立ち

1983年大分県竹田市で生まれる 現在32歳

子供の頃の夢、「将来は商人になりたい」幼稚園生の頃から、親が木材業を営んでいたからなのかもしれないが、靴屋さんや服屋さん、何かを売る商人になる夢をもっていた。

竹田市内の高校を卒業して、自分のやりたい商売をみつける為、フリーターをする。

その後、福岡にいき、21歳で飲食業と出会う。その時に、飲食業で自分は会社を経営しようと決める。

決めては、お客様の笑顔をつくれる仕事、そしてありがとうを集める商売だったから。

その声が目の前で生で聞けるからだだった。

25歳で会社を起業し、飲食店を出店する夢もち邁進したが、「人、金、モノ」会社で必要なすべてを持ち合わせていなかった、氏田は夢を叶える事ができなかった。

しかし自分との約束を破りたくない、その思いだけで、自分で WOOD HOUSE株式会社を設立。資本金は1円だった。従業員はなにもしない代表取締役一人のまったくお金の動かない会社だった。

その後、目標の再設定をして、28歳で飲食店を開業する夢をもつ。

28歳で開業する為に、福岡の修行先をやめ、開店準備をしていた時、ふるさとの大分県竹田市に5年ぶりぐらいに帰る。

久しぶりに、友達5~6人で週末の土曜日、5時ぐらいから繁華街の居酒屋でみんなで飲食をして、7時30分ぐらいに次の店にいこうかと外に出た時に、目の前にうつった景色は、ひとっこ一人歩いていない商店街の風景だった。

その風景をみて、ショックを受けた。

そこから竹田市の現状を、いろいろ調べた。過疎化が進み、日本一高齢化率が高い市。地方がかかえる問題を強烈に受けている市だと気づく。

そこから、何かできないかと、有志を集い「一期一会」という若者が集まりこれからの竹田市の為に語り合おうという会をつくる。一ヶ月に一回50人ぐらいで集まり、お酒を飲みながら語りあう会。

この10ヶ月くらい続けていた時に、このままこの町をすてて福岡で飲食店を出店する事が、本当に自分はそれでいいのかと悩む。

悩んだあげく竹田市に「感動のもつ鍋処 陽は



またのぼる」を開店。

たった一人での半年間の営業だった。

その後2年で、4店舗出店。

約1500店舗の居酒屋の日本一を決める大会

第9回居酒屋甲子園 日本一

第10回居酒屋甲子園 準優勝

竹田市より特別功労賞受賞

栄光もたくさんあったが、2015は大変、沢山の苦勞もした年でもあった。

沢山の方が支えてくれて今の自分があり、会社がある。

竹田市があったからこそ、今こうしてお店をさせていただいている。

感謝の気持ちを今一度大事に、これからも進んでいきたい。

日本の人口減少問題 と 日本の将来像

現在の日本の人口は

1億2700万人 65歳以上の比率は26%

45年の日本の人口は

8600万人 65歳以上の比率は40%

現在の竹田市の人口

2万3600人 65歳以上の比率は43%

45年後の未来の日本の平均の人口比率と同じ竹田市。

このままでは、先人方、沢山の先輩方が守ってきてくれた町が、若者の都市集中でどんどん衰退していく。

地方の人口減少問題と後期高齢化率が問題になっているこの世の中で人口が増え続ける場所を選び、スキルややり方だけで商売をしていく事が答えならふるさとの為に、自分の愛した町の為に商売をする若者はいなくなってしまう。

一人一人が商売をするだけでなく、都会にいてもふるさとの為にできる事はある。

アメリカのアンケートで90歳以上の方に聞いたアンケートがある。

「90年の人生を振り返って一番後悔している事はなんですか？」

90%以上の方が同じ答えをいった。

「もっと冒険しとけばよかった」

僕たちの夢は、地方の居酒屋が元気な町をつくり、その活気ある町から日本を元気にしていく事です。

明るい未来を自分たちの手で、沢山冒険をして掴んでいきます。



竹田本店



府内店



竹田はなれ店



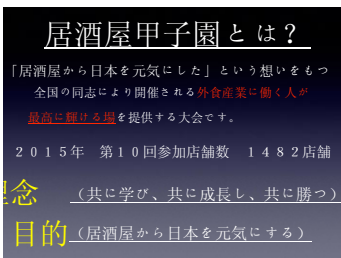
竹田市を元気にするホルモン焼き屋 星の輝く空



感動のもつ鎮座 隔はまたのぼる 竹田本店 2012.5.1開店



居酒屋甲子園



居酒屋甲子園とは？

「居酒屋から日本を元気にした」という想いをもつ全国の同志により開催される外食産業に働く人が最高に輝ける場を提供する大会です。

2015年 第10回参加店舗数 1482店舗

念 (共に学び、共に成長し、共に勝つ)

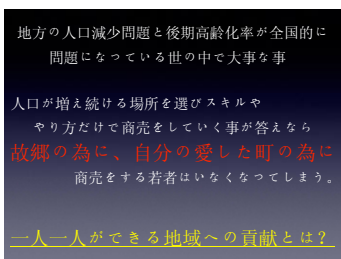
目的 (居酒屋から日本を元気にする)



第9回優勝



第10回 準優勝



地方の人口減少問題と後期高齢化率が全国的に問題になっている世の中で大事な事

人口が増え続ける場所を選びスキルややり方だけで商売をしていく事が答えなら

故郷の為に、自分の愛した町の為に商売をする若者はいなくなってしまう。

一人一人ができる地域への貢献とは？



地方の居酒屋が元気を隊をつくり その活気ある町から日本を元気に



ご清聴ありがとうございます